

2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社アイ・ピー・エス 上場取引所 東
 コード番号 4335 URL http://www.ips.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 生田 裕彦 TEL 06-6292-6236
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,237	9.8	12	109.1	12	115.5	7	119.8
2019年6月期第2四半期	1,127	—	6	—	5	—	3	—

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 7百万円 (132.0%) 2019年6月期第2四半期 3百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	3.24	3.20
2019年6月期第2四半期	1.47	1.46

(注) 当社は、2018年6月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,474	910	60.5
2019年6月期	1,545	926	58.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 891百万円 2019年6月期 908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△3.7	140	13.5	140	14.1	97	7.6	40.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	2,466,000株	2019年6月期	2,466,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	77,000株	2019年6月期	77,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	2,389,000株	2019年6月期2Q	2,389,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀が発表した2019年12月の短観（企業短期経済観測調査）によれば、大企業製造業における業況判断指数（DI）は4四半期連続の悪化となり、米中貿易摩擦や海外景気の減速が製造業の景況感悪化の背景となっております。一方、消費増税による悪影響は限定的で、非製造業については消費増税対策もあり、わずかな悪化にとどまりました。

当社グループを取り巻く環境においては、Windows7のサポート終了に伴う更新需要ははく落しましたが、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新需要は底堅く推移しております。

かかる状況の下、当社グループは中堅・中小企業向けの国際標準業務システムを、SAP S/4HANA Cloudをパブリック・クラウドにて早期導入するサービス提供を行っております。当社グループはこのパブリック・クラウド版の提供を通じて、さまざまな業種と業務におけるグローバルなデジタルビジネスに向けたエンタープライズ対応機能を提供して参りました。また、顧客ニーズに適応した業務改善提案を実施するとともに、SAP ERP導入後の活用に向けたソリューションの提供を通じて、積極的なコンサルティング活動を推進してきました。また、従来より実施しているテレマーケティングやセミナーを充実させ、より積極的な営業提案を行ってきました。

以上のような活動を積極的に推進した結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12億37百万円（前年同四半期比9.8%増）となり、計画に対しまして1億37百万円の増収となりました。利益におきましては、前期に引き続き外注費やソフトウェア償却費等が高水準に推移しましたが、売上増に伴い若干計画を上回ることとなりました。以上の要因により、営業利益12百万円（前年同四半期比109.1%増）、経常利益12百万円（前年同四半期比115.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円（前年同四半期比119.8%増）となりました。

なお、当社グループはERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、前連結会計年度末と比較して、70百万円減少して14億74百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金3億22百万円、売掛金5億81百万円、固定資産3億7百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して、53百万円減少して5億64百万円となりました。主な内訳は買掛金75百万円、未払金98百万円、未払法人税等10百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して、16百万円減少して9億10百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金5億64百万円であり、自己資本比率は60.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、3億22百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1億36百万円の支出（前年同期は91百万円の支出）となりました。これは売上債権の増加による支出29百万円（前年同期は36百万円の収入）、前払費用の減少による収入97百万円（前年同期は77百万円の収入）、たな卸資産の増加による支出68百万円（前年同期は63百万円の支出）、前受金の減少による支出1億45百万円（前年同期は93百万円の支出）、仕入債務の減少による支出12百万円（前年同期は46百万円の支出）等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは11百万円の支出（前年同期は72百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8百万円（前年同期は34百万円の支出）等によるものです。当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少し、4億48百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは74百万円の収入（前年同期は12百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入による収入1億円（前年同期は該当なし）、配当金の支払による支出23百万円（前年同期は11百万円の支出）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期連結業績予想につきましては、2019年8月9日発表の「2020年6月期 決算短信」に記載の数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	396,029	322,153
売掛金	551,517	581,100
仕掛品	142,961	211,724
前払費用	133,759	36,819
未収入金	14,699	11,296
その他	10,299	3,911
流動資産合計	1,249,266	1,167,007
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	44,329	42,457
車両運搬具(純額)	—	16,492
工具、器具及び備品(純額)	16,685	21,064
土地	19,003	19,003
リース資産(純額)	1,896	—
有形固定資産合計	81,914	99,017
無形固定資産		
ソフトウェア	34,219	19,801
その他	2,579	2,244
無形固定資産合計	36,799	22,045
投資その他の資産		
投資有価証券	1,172	1,257
関係会社株式	10,000	20,956
繰延税金資産	55,306	55,306
差入保証金	93,445	92,690
その他	17,099	16,667
投資その他の資産合計	177,024	186,878
固定資産合計	295,738	307,941
資産合計	1,545,004	1,474,949
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,492	75,663
短期借入金	—	100,000
未払金	91,873	98,558
未払費用	1,852	2,172
未払法人税等	34,967	10,267
賞与引当金	8,600	9,894
前受金	187,311	42,020
未払消費税等	26,930	22,517
その他	17,902	9,008
流動負債合計	457,930	370,102
固定負債		
長期末払金	—	18,686
退職給付に係る負債	160,335	175,667
固定負債合計	160,335	194,353
負債合計	618,266	564,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	580,896	564,747
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	908,125	891,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	△122
その他の包括利益累計額合計	△27	△122
新株予約権	18,640	18,640
純資産合計	926,738	910,493
負債純資産合計	1,545,004	1,474,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,127,219	1,237,817
売上原価	891,799	906,568
売上総利益	235,419	331,249
販売費及び一般管理費	229,337	318,528
営業利益	6,082	12,720
営業外収益		
受取利息	16	8
受取手数料	—	348
その他	247	272
営業外収益合計	264	629
営業外費用		
支払利息	39	273
為替差損	17	117
コミットメントフィー	449	372
営業外費用合計	506	764
経常利益	5,840	12,586
特別損失		
固定資産除却損	178	—
特別損失合計	178	—
税金等調整前四半期純利益	5,662	12,586
法人税等	2,139	4,845
四半期純利益	3,522	7,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,522	7,740

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,522	7,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△238	△95
その他の包括利益合計	△238	△95
四半期包括利益	3,283	7,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,283	7,645
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,662	12,586
減価償却費	22,253	27,917
前払費用の増減額(△は増加)	77,144	97,312
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,542	15,331
受取利息	△16	△8
支払利息	39	273
売上債権の増減額(△は増加)	36,353	△29,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,230	△68,763
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,747	△12,828
前受金の増減額(△は減少)	△93,086	△145,291
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,446	△4,412
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,112	10,814
その他の負債の増減額(△は減少)	△8,540	△13,563
その他	1,220	2,852
小計	△69,965	△107,362
利息の受取額	16	8
利息の支払額	△39	△273
法人税等の支払額	△22,769	△28,798
法人税等の還付額	963	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,794	△136,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,773	△8,447
無形固定資産の取得による支出	△7,872	△3,729
貸付金の回収による収入	500	500
差入保証金の差入による支出	△30,380	△94
その他	△136	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,661	△11,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
配当金の支払額	△11,845	△23,644
リース債務の返済による支出	△447	△140
割賦債務の返済による支出	—	△1,340
その他	△449	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,742	74,501
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△177,199	△73,875
現金及び現金同等物の期首残高	625,334	396,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	448,135	322,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。